

大会前日



P140 : 大会の前日、大島から昇る朝日が真っ赤でした。朝焼けの翌日は雨が降るとの言い伝えがあるそうですが・・・



P148：大会準備のために、馬房をあけ、与那国馬は一つの馬房に 3 頭も入る結果となっていますが・・・



P146：ご覧のように山羊のペーターも与那国馬テルの馬房に入れられ・・・あれ？うさぎも入っている（これは何だ？）



P150：よく見ると、テルのお尻と玄関番ペーターのアップ、小ウサギが2羽。



P151:こちらの写真の2羽のウサギは親ウサギと生後1ヶ月くらいの子ウサギです。



P152: 1頭と子ウサギ2羽の写真です（このテルの優しい雰囲気をご覧ください。）



P143 : 白い子ウサギは、こんな感じです。

大会当日

前日の雨予想があたってしまった。小雨ながら降ったり止んだりの天候が続き、80km以上の走行人馬にとっては、降り止まない午後の雨が辛くなってきた。CEI80km、120kmの最低時速を12kmに設定した。雨のために足場が悪くなるので、その影響を受けた馬が、120kmでは3頭跛行失権してしまった。

日本では12月に、エンデュランスの国際大会を開催することは、初めての経験であろう。この時期にもかかわらず、参加人馬数は、CEI2*120kmは6人馬、1*80kmは1人馬、JEF80km参加人馬数は11人馬と数多かった。60kmトレーニングライド6人馬、40km3人馬で、総参加人馬数は27人馬の盛況ぶりだった。

40kmトレーニングライドは3人馬揃って時速10kmで完走、60kmの4人馬は時速11kmで完走の安定感のある走行だった。

JEF80kmの1位はクロゴマ騎乗の山田ライダーで時速12.9kmのスピード。2、3位にティックータープ号・秋山ライダーとアイディール号・吉田ライダーは時速12.7km。80km11組参加のうち10組が完走、時速10km以上をキープする記録であった。JEF80kmのベスト・コンディション賞は3位のアイディール号・吉田ライダーであった。

80km1*のラッキー号・廣橋ライダー組は、平均時速15kmで完走、馬の体調がすこぶる良いので1頭の参加ながら、BC賞が授与された。

120km参加6人馬のうち、ギタップ号・中山ライダー組、ファウスト号・七野ライダー組は第3レグまでは、平均時速15kmキープして頑張っていたが、午後から雨足が強くなってきたため、時速が落ちて、最終的には平均時速14.2kmで完走した。同タイムであったが、1位はファウスト号・七野ライダー組であり、BC賞も合わせて受賞した。

3位には、勝太郎号・谷組が時速12.8kmで完走。残る3人馬は、残念ながら跛行失権であった。



P179 120km2*1 位 : BC 賞受賞の七野ライダーとファウスト号



P187 120km2*2 位 : 中山ライダー



P184 120km2*3 位：谷ライダー



P191 80km1*：廣橋ライダー



P168 80kmJEF1 位：山田ライダー



P169 80kmJEF2 位：秋山ライダー



P182 80kmJEF3 位、BC 賞：吉田ライダーとアイディール号